
今日の方

2025年4月28日 ～ 5月4日

翻訳 岡元 裕子

編集 野口 恵美子

この冊子の聖句は新改訳聖書第三版を使用しています
※翻訳・編集以外でも協力して下さっている兄弟姉妹がいます

御茶の水キリストの教会

4月28日(月)

神様の目的のために生まれた

聖書朗読 ルカの福音書 1:8~17

ヨハネに至るまで、すべての預言者たちと律法とが預言をしたのです。あなたがたが進んで受け入れるなら、実はこの人こそ、きたるべきエリヤなのです。

マタイ 11:13~14

お知り合いの中に天才と言われているような子どもはいますか。生まれつき頭が良かったり、音楽の才に恵まれているようなお子さんです。バプテスマのヨハネは、エリヤのような預言者になるという、特別な賜物を持って生まれました。ヨハネの独特の召命には、ユダヤの荒野で教えを宣べ、いなごと野蜜を食べ物とするというものまで含まれていました。

でも、ヨハネが真に特別だったのは、彼の使命ゆえにです。彼は救い主イエス様のために道を整えました。私たちも皆、イエス様の十字架の死と復活という福音を宣べ伝えるために召されています。人はイエス様に会い、かしこみつつ引き寄せられ、悔い改め、バプテスマされ、聖霊の賜物をいただくのです。

誰かあなたがキリストに出会うために道を整えてくれた人がいますか。私たちはキリストの光を遮ったり邪魔したりする人たちや経験にはよく気付きます。でも、神様がイエス様に通ずる道を備えてくだされば、私たちの心は変えられます。家族内にあってもです。

私は特別じゃないからと思われるかもしれませんが、あなたも神様の目的のために生まれたのです。愛と真理の光を、今日、あなたによって輝かせましょう。

讃美歌 234A むかし主イエスのまきたまいし

祈り 主よ、私の人生における、あなたのみ救いを信じます。自分の過ちにとらわれて、あなたの光に照らして他の人を愛することができないことを、お赦してください。イエス様のお名前によって。アーメン。



フロリダ州 デスティン / サラ・クラーク

4月29日（火）

りっぱな信仰

聖書朗読 ルカの福音書 7：1～10

これを聞いて、イエスは驚かれ、ついて来ていた群衆のほうに向いて言われた。「あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。」
ルカ 7：9

イエス様がカペナウムの町に入られると、ローマの百人隊長が送ったユダヤ人の長老たちがイエス様のみもとに近づいて来ました。この百人隊長は権力者であり、影響力を持っていました。ユダヤの指導者たちは、彼がカペナウムに会堂を建ててくれたという理由で、百人隊長をもてはやしていました。百人隊長は“ミシュナ”（訳注：ユダヤ教の聖典タルムードの最初の部分）によると、異邦人の住居は汚れていると教えられていることを知っていました。それで、彼はイエス様に家に上ってくださるようお願いせずに、イエス様が家の近くまでいらした時に友人たちを使いに出し、イエス様と長老たちに会って、死にかけているしもべを助けてくださるようにと熱心にお願ひさせました。百人隊長はこう伝えさせました。『主よ。…あなたを私の屋根の下にお入れする資格は、私にはありません。…ただおことばをいただきかせてください。そうすれば、私のしもべは必ずいやされます。』

イエス様は百人隊長の信仰に驚かれました。イエス様はつい先頃、神の国の真理と、御国に対する信仰について教えられたばかりでした。そして今、お話になった通りの信仰を実際に見せてくれた人がいました。イエス様は百人隊長の信仰を称えて、『あなたがたに言いますが、このようなりっぱな信仰は、イスラエルの中にも見たことがありません。』とおっしゃいました。百人隊長の信仰によって、しもべは癒されました。

讃美歌 268 まごころもて 仰ぎまつらん

祈り お父様、百人隊長の素晴らしい信仰の例をありがとうございます。私も自分の人生において、この例に倣い、日々立ち向かう試練に打ち勝てるようあなたを見上げてみ力をいただけますように。イエス様のお名前によって。
アーメン。

ミシシッピー州 オリーブ・ランチ / エディー C・ルイス

4月30日（水）

赦しを過小評価する者は、その赦しに十分応えることはできない

聖書朗読 ルカの福音書 7：36～50

あなたがたに言うが、この人が、義と認められて家に帰りました。パリサイ人ではありません。なぜなら、だれでも自分を高くする者は低くされ、自分を低くする者は高くされるからです。」
ルカ 18：14

あるパリサイ人が、一緒に食事をしたい、とイエス様を招きました。大工から転身した若き救い主イエス様に心から関心を持っていたのでしょうか。イエス様は、パリサイ人シモンに神の義について教えました。イエス様との食事は結構なものでしたが、イエス様その後、食事以上に目からうろこが落ちるようなお話をされました。それは赦された二人の者のお話でした。

その晩、食事の席についたのは、シモン以外の人もいました。その中の一人は罪深い女性でした。彼女は、罪の赦しを必死に求めていました。イエス様が群衆に語られたことばは彼女の心に響きました。罪深い女性が、正しいとされている人の家に入るのは容易いことではなかったでしょう。でも、そう言うところにこそイエス様はおられるのです。

シモンと罪深い女性がイエス様とともにいました。シモンは堂々とイエス様と向かい合っていました。罪深い女性は目を合わせることもできず足元に伏していました。そこでイエス様はたとえ話をされました。ちょうどシモンの居間にいる人たちのように、ふたりの者が金を借りていました。そこでは多く借りていた者も、少なく借りていた者も、共に赦されました。イエス様は、どちらがよけいに感謝の念を表わすだろうかと尋ねられました。シモンは、よけいに赦してもらったほうだろうと認めました。するとイエス様は神の義についての驚くべき真理を語られました。『少ししか赦されない者は、少ししか愛しません。』つまり、自分があまり赦されていないと思い込んでいる人は、それに応答しないので、他者を少ししか愛せなくなるわけです。この家でイエス様に多くの愛を示した女性は、多くの罪を赦されて、驚きと喜びで家に帰りました。

讃美歌 280 わがみののぞみは

祈り お父様、赦しをもとめる心をお与えください。そして、あなたがくださる恵みをいただけますように。イエス様のお名前によって。アーメン。
テキサス州 ラボック / デビッド・ラングフォード

5月3日（土）

招かれざる客*

*訳注：1967年のアメリカ映画

聖書朗読 ルカの福音書 14:15～24

見よ。わたしは、戸の外に立ってたたき。だれでも、わたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしは、彼のところには行って、彼とともに食事をし、彼もわたしとともに食事をする。

黙示録 3:20

大好きな有名人とのお食事に招待されたらなんて思っただけでも夢みたいなことかもしれません。その有名人があなたの家に来て戸をたたき、食事に呼んでくれたらと夢見るなんていうのは、とんでもないことでしょう。このあり得ない出来事にショッキングで意外な進展を付け加えましょう。あなたは以前、その有名人の正式な招待をお断りして、わざわざあなたの家に来てくれたのだと想像してみてください。

そんなことになるなんて信じられないと首を振っていることでしょう。ごもつともです。

神様が、御許に来るようにとの素晴らしい招きをもって、人の心の戸をたたき続けてくださっていることは、もっと驚くべきことではないですか。いつの日か、主がおいでになり、永遠の住まいに迎えてくださいます。そこには主が私たちのために用意して下さった場所があります。でもこの地上においては、神様とともにパンを裂き、私たちの重荷を主のもとに持って行きましょう。そして、私たちの知らないことを素直にイエス様にお尋ねして、主の忍耐強い教えに耳を傾けるようにと招いて下さっています。

讃美歌 517 われに来よと 主は今

祈り お父様、私たちを喜んで迎えようと根気よく招いてくださってありがとうございます。私たちを育て強くしてくださるあなたの愛を感謝します。忙し過ぎると言っただけあなたの招待を断ったり、心の戸をたたいておられるあなたに答えなかつたりすることがありませんように。イエス様のお名前によって。アーメン。

コロラド州 モニュメント / ウィリアム E・ヤング

5月4日（日）

天が開けるのを見るでしょう

聖書朗読 ヨハネの福音書 1:43～51

こういうわけで、もしあなたがたが、キリストとともによみがえらされたのなら、上にあるものを求めなさい。そこにはキリストが、神の右に座を占めておられます。

コロサイ 3:1

イエス様がキリストだというピリポの言葉に対して、ナタナエルは「ナザレから何の良いものが出るだろう。」と返しました。反論するかわりに、ピリポはただ「来て、そして、見なさい。」と言いました。「イエス様のところに行って、注意深く見てみなさい。」というのです。神様のご栄光に包まれたイエス様を見れば、私たちは磁石にくっつく鉄くずのように引き寄せられます。イエス様はナタナエルがご自分のほうに来るのを見て、『これこそ、ほんとうのイスラエル人だ。彼のうちには偽りがありません。』と言われました。（ヨハネ 1:47）イエス様はナタナエルの外見だけではなく、彼のすべてをご覧になりました。同じように、イエス様は私たちを召される前に、私たちのすべてをご存じです。私たちの短所も長所もご覧になり、これからどのように成長するかということもご存じです。弟子たちのように、私たちもイエス様にお従いするうちに、不信仰な者には見えない霊的眞実を見ることとなります。

今日の聖句は、『来て、そして、見なさい。』という招きを信奉するようにと教えています。イエス様は、私たちの欠点・可能性・将来を含めて、私たちを丸ごとご存じです。イエス様を信じ、お従いし、霊的眞理の奥義を見させていただき準備はできていますか。信仰によって一歩前に踏み出し、イエス様に私たちを変えていただきましょう。私たちが本来そのように人生を送ることができるはずだとイエス様をご存じの人生へと導いていただきましょう。今日、もう一歩踏み出して、ピリポがしたように、他の人もイエス様のご栄光に遭うことができるように、イエス様を見て、と他の人を招きましょう。

讃美歌 II 1 ころを高くあげよう

祈り 全能なる神様、私たちを愛し、私たちを地から天へと導くためにイエス様を送ってください、あなたを愛します。永遠に感謝します。キリストの尊いお名前によって、ほめたたえます。アーメン。

オレゴン州 グレシャム / リチャード N・アディ